

子どもがつくる算数の複式ガイド学習 研究大会

1 算数研究の歴史

本校では、平成元年から30年以上、算数科教育を研究しています。複式学級では、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生、それぞれ2つの学年が同じ教室で学習をします。別々の内容を学習しようとするとき、学級担任は一人で両方の学習を進めなければなりません。そこで、担任が一方の学年を見ている間も、子どもたちが自分たちで学習をすすめることを目指します。

2 子どもがつくるガイド学習

母子小学校では、子どもがつくる算数科学習の子どもの姿として次の3つのことを考えています。

- 自ら学習に主体的に関わっていく。
- 自分たちの学習を自分たちで創り上げる。
- 学習に対して、常に課題意識と見通しを持って取り組む。

そして、子どもがつくるガイド学習とは、まずひとり学習で学習の構えと見通しを持ちます。そして、ガイド学習の中のコミュニケーションつまり、おたずね等によって学習の深化をはかり、新たな学びへとつなげていきます。



読み上げていくと



低学年では、
教師の支援のもと進めていたガイド学習も、高学年になると自分たちだけで進めることができるようになってきます。



かさの学習

かが商品のどこに表示されているのか確かめています。

学習と生活を結びつけて



他教科ともつなげ、
他学年と共に学ぼう!

生活科「夏祭りごっこ」

他学年にも協力してもらってお金の学習をしました。

3 校内研修会

市の内外を問わず、県外からも、たくさんの先生が本校の算数の学習を参観に来られます。母子小学校の子どもたちの算数の学習が広く注目されています。

① 第1回公開授業研修会(校内研修会) 5月24日(火)

学年		単元名	指導者
複式	3年	たし算とひき算の筆算 ～4けたの数の筆算～	井関力太 橋本直樹
	4年	一億をこえる数～大きな数のしくみ～	

【講師】 西浦 健司先生(三田市教育委員会 前阪神算数科指導員)



② 第2回公開授業研修会(校内研修会) 6月17日(金)

学年		単元名	指導者
単式	1年	(1)ひきさん(1)	濱田綾香 野垣佳代
	2年	図をつかって考えよう	
複式	5年	「小数のわり算」割合を表す小数	細見有美 橋本直樹
	6年	資料の調べ方	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生



4 研究発表会

「子どもの深い学びを目指したつなぐ力の育成～子どもがつくる算数科学習を通じて～」をテーマとして研究を進めてきました。その中で、ひとり学習、おたずね、つなぐ力について、校内研修会などを通じて研究を深めてきました。毎年9月下旬～10月上旬に研究発表会を行っています。市内はもとより県内各地から参観していただき、「母子の算数・複式ガイド学習」への関心の高さがうかがえます。

来年度は、「第72回全国へき地教育研究大会兵庫大会」での会場校の1つとして研究発表を予定しています。全国各地の先生方との交流を通して、これまで積み上げてきた母子の研究をさらに深めていきたいと考えています。

○母子小学校研究発表会 令和4年度三田市教育委員会指定 9月27日(火)

学年		単元名	指導者
複式	1年	たしざん(2)	濱田綾香 野垣佳代
	2年	図を使って考えよう(2)	
複式	5年	図を使って考えよう	細見有美 橋本直樹
	6年	表を使って考えよう(1)	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生

